

題名 願うだけでは訪れない平和

鹿沼市立西中学校 (氏名) 宮武 優



現地の広島で見た、今にも崩れ落ちそうな原爆ドームや、資料館に展示されている、原爆の悲惨さを語る絵や被爆者の遺品などは、本当にこんなことがあったのかと不思議に思うほど、衝撃的なものでした。さらに、被爆者の講話を聞く中で、荒れ果てた町の様子や痛みに苦しむ人々の様子を想像して、胸が締めつけられるような思いになりました。そして、このような無差別な攻撃は、これからの世の中であってはならないと強く感じました。

私は、平和記念式典のこども代表の発表で、印象に残った言葉がありました。それは「願うだけでは平和は訪れません。」という言葉です。その言葉を聞いて、私たちは平和を願うだけではなく、平和を創っていくために行動するべきなんだと考えました。そのために、今回広島で学んだことを、多くの人々に伝えていきたいと思います。